

国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

【実践者】

授業者氏名	福成 利之	学校名	新宿区立落合第二小学校
教科（科目）・領域	社会科	対象学年（人数）	6年 1組（26名） 2組（26名）
実践年月日もしくは期間（時数）	令和5年11月～12月（8時間扱い）		

【実施概要】

1. 単元名（活動名）：日本とつながりの深い国々（世界の中の日本）					
2. 実践する教科・領域： 社会科（グローバル化する世界と日本の役割） （外国語、道徳など他教科でも扱う）	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	B グローバル社会	相互依存	情報化		
	C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
	D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）：					
<ul style="list-style-type: none"> ●日本と経済、文化、歴史やスポーツなどの面でつながりが深い国の人々の生活は、多様であること、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。（知識・技能） ●日本と関係の深い国の生活の特色や相互の関連や意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。（思考・判断・表現） ★自分が調べた調べた国やベトナムなどの日本とのかかわりの深い国の学習をもとに、異文化を互いに尊重し合う大切さに気付くとともに、互いの良さを認め、これからもかかわり合おうとする態度を養う。（主体的に学習に取り組む態度）【国際理解】 ●日本と関係の深い国の人々の生活や国際社会における日本の役割について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、平和を願う日本人として世界の国々の人々とともに生きること（共生）の大切さについての自覚を養う。（主体的に学習に取り組む態度） 					
5. 単元の評価規準	①知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の人々の暮らしの様子について、地図帳や地球儀、資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、日本の文化や習慣との違いを理解している。 ・調べたことを図表やポスター、パンフレットなどの作品にまとめ、日本とつながりが深い国の人々の暮らしは多様であること、スポーツや文化、国際協力などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解している。 			
	②思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の人々の生活の様子などに着目して、問いを見だし、日本の文化や習慣との違いを考え、表現している。 ・日本とつながりの深い国の人々の暮らしや文化を比較したり関連づけたら、総合したりして、国際交流の果たす役割や、異なる文化や習慣を尊重しあう大切さを考え、表現している。 			
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とつながりの深い国の人々の生活について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ★自分が調べた調べた国やベトナムなどの日本とのかかわりの深い国の学習をもとに、異文化を互いに尊重し合う大切さに気付くとともに、互いの良さを認め、これからもかかわり合おうと考えている。【国際理解】 			

<p>6. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)</p>	<p>【単元設定の理由あるいは単元の意義】</p> <p>○本単元は、学習指導要領第6学年内容(3)「グローバル化する世界と日本の役割」に関連する。「我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国の人々の生活は多様であることを理解するとともに、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解できるようにする」(学習指導要領解説より)</p> <p>○日本とかかわりの深い国は多くある。その国は一方的でなく相互に支えあいかかわり合っているとともに、生活や文化が多様であり、尊重し合うことが大切であることを学んでいく。</p> <p>○興味関心のちがいや身近な国は、事例国以外にもある。児童の主体性を重視しながらも、歴史、文化、スポーツ、経済・くらしなど様々な視点に触れられるように単元を構成する。</p> <p>【児童/生徒観】</p> <p>○社会科の授業では、政治、歴史共に関心が高く、新しい資料に出会うことを楽しみにしている。また、図書館の本やタブレット端末などを使って自ら課題をもって調べる活動に対しても主体的に取り組む様子が見られる。</p> <p>○既習事項への理解の差や社会事象への関心の差は大きく、より身近に感じたり、知識・技能を確実に獲得したりできるように、資料を工夫したり、人物や本物との出会いを大切に、授業を展開していく。</p> <p>○地域や学級にも外国籍の家庭がある。偏見や差別を感じることは少ないが、言葉や考え方に、「ちがい」や「嫌悪感」を露骨に表現する児童もいる。互いの良さや文化を理解することやかかわりを前向きに捉えていく活動や指導を単発ではなく、意図的に重ねていきたい。</p> <p>【教材観】</p> <p>○教科書の事例国をもとに学習を進め、様々な視点や立場から、日本とのかかわりを考えていくことが大切である。また、WEBサイトからの情報収集に頼らず、人物へのインタビューや図書館からの書籍の貸し出し、実物や体験なども重視していきたい。</p> <p>○一方で、教科書の事例国(アメリカ、中国、ブラジル、サウジアラビア)に限られ、身近に捉えられないことがある。表面的に国の特色を調べるだけで、相違点に気付けないことがある。そこで、日本から近く、戦争でのマイナス面にも関わらず信頼関係の強い「ベトナム」を発展的に取り上げることで、つながりの深い国々が他にも多くあることに気付かせたい。</p> <p>【指導観】</p> <p>○すでに既習している政治(法やきまり、税、権力)や歴史単元(政治の変化やくらしの変化、文化や国同士のかかわりの歴史)からの積み重ね、次につながる国際協力単元へのつながりを意識して、単元を構成していく。</p> <p>○ICTを活用し、学びを積み重ねたり、対話的・協働的な活動も取り入れたりすることで、「学び方」からも、「かかわり」や「学び合い」、「互いの尊重」などの重要性に気付かせる。</p>
--	--

7. 単元計画(全 8 時間) ※発展的な学習を含む			
時	ねらい	○学習活動 ・児童の反応	□資料 ☆支援 ※JICA リソース活用
1	<p>【オリエンテーリング】 「世界の中の日本」 つかむ (大単元をつかむ) ・歴史学習をふりかえり、日本と外国とはたくさんのかかわりがあることに気づき、「外国とのかかわり」や「世界の中の日本」について課題をもち、関心を高める。</p>	<p>○歴史の学びをふりかえる、世界の国々とのかかわりを世界地図に表し、気付いたことを伝え合う。 ・文化の伝わり ・助け合いやかかわり ・戦争 ・国際協力(ユニセフの事例など)</p> <p>○東京オリンピック×2回分の参加国や大会の様子について調べる ・参加国が増えた ・国旗や国歌が大切 ・いろいろな国があつて、ちがいがある</p> <p>○国旗や国歌に興味をもつ ・国旗や国歌に由来がある ・歴史がある</p> <p>○大単元の学習の見通しをもつ ・外国とのかかわりや国際協力を学ぶ ・外国と日本はかかわりを知りたい ・日本人は世界でどんな活躍をしているか?</p>	<p>□世界地図 ☆表面的な学びとならないように、歴史学習からのつながりをふりかえる</p> <p>□オリンピックの様子がわかる写真</p> <p>□国旗・国歌の由来</p> <p>□世界で活躍する日本人の写真 ☆人に注目し、課題意識を高める。</p>

2	<p>【日本とつながりの深い国々】</p> <p><u>つかむ</u></p> <p>・資料をもとに、日本とかかわりの深い国から、視点をもって調べたい国や学習計画を考える。</p> <p>調べる国①【全員が取り組む】 (教科書の4か国から1か国のみ)</p> <p>↓</p> <p>調べる国②【発展や個に応じて】 (理由が明確な国を追加で選ぶ)</p> <p>↓</p> <p>～<u>児童1人1～2か国調べる</u>～</p>	<p>○日本に在住する外国人・外国に住む日本人について、予想しながら調べる</p> <p>○日本との輸出入でのかかわりのある国を調べ、気付いたことを伝え合う。</p> <p>・たくさんの国、何度も出てくる国がある</p> <p>○特に、アメリカ、中国、ブラジル、サウジアラビアの4つの国を、以下の6つの視点から、調べる計画を立てる。</p> <p>・基本情報 ・衣食住の違い ・文化や歴史</p> <p>・貿易 ・スポーツ ・人物や都市のつながり</p> <p>○4つの国以外を調べたい場合は、トルコ、ベトナム、モンゴルなどの例を紹介し、目的を絞り、2か国目に取り組むよう促す。</p> <p>・親日の国がある ・スポーツや支援でつながる</p>	<p>□日本在住、海外駐在の日本人(円グラフ)</p> <p>□日本への輸出入(円グラフ)</p> <p>□各国の基本情報</p> <p>□世界地図</p> <p>☆視点をもつことで調べる計画を明確にする。</p> <p>□トルコやベトナム、モンゴルなどを例とともに紹介する。</p>
<p>教室環境：学習計画や調べる視点を掲示する、図書室や図書館から多めに本を借りる</p> <p>家庭学習：主体的な学びに向け、宿題に余裕をもたせ家庭学習で促し、共有しやすくICTツールを活用する</p> <p>他教科との関連：年間を通して、道徳(トルコの事例)、外国語(外国の学校や文化)、国語等(言語)など</p> <p>外国とのかかわりやつながりを意識する機会を積み重ねる</p>			
3	<p><u>調べる</u></p> <p>・視点にそって、調べた国と日本とのかかわりや相違点を理解する。</p> <p>選んだ国1～2か国</p> <p><u>グループで協力(国ごと)</u></p>	<p>○視点にそって、トルコをモデルの国として調べ方を確かめる(全体)</p> <p>・日本との交流が多い ・調べ方がわかった</p> <p>○全体での学びをもとに、同じ国を選んだグループで調べ、まとめる</p>	<p>□トルコの基本情報</p> <p>□トルコとの交流(写真やグラフ)</p>
4	<p><u>調べる</u></p> <p>・視点にそって、調べた国と日本とのかかわりや相違点を理解する。</p> <p><u>個人・グループを選択</u></p> <p>⇒さらに詳しく個人で調べる等</p>	<p>○調べたことを、ノートやICTツールを活用し、まとめる。(続き、グループ又は個人)</p> <p>・教科書 ・資料集 ・図書室や図書館の本</p> <p>・WEBサイトの動画や資料 ・インタビュー等</p> <p>○調べながら、特に伝えたい内容を絞ったり、学習計画を見直したりする。</p>	<p>□児童の調べた内容を共有</p> <p>☆伝えたい意欲をもてるように、机間指導を重ねる。</p>
5	<p><u>調べる</u></p> <p>・調べたことを表やパワーポイントなどに整理し、日本と比べ、相違点について考える。</p> <p><u>個人で整理・見直し</u></p>	<p>○調べるたことを、まとめる(前半)</p> <p>○調べたことを整理し、なぜ日本とのかかわりが深いのか理由を考える。(後半)</p> <p>・互いに必要 ・歴史 ・良さを認める 等</p> <p>○内容を追加・修正し、発表の要点をしぼる。</p>	<p>☆調べた事実だけでなく、考えを深められるように「なぜ」を問うようにする。</p>
<p>学びの継続と交流：調べる時間は限りがあるため、今後も「学び続けたい」、「ほかにも調べたい」思いを大切に</p> <p>ICTツール活用：対話や交流が自然に生まれるように、ICTツールを継続的に活用する</p>			
6	<p><u>まとめる</u></p> <p>・発表を通して、様々な国と日本のつながりや相違点について考える。</p> <p><u>自分の調べた国以外でグループ交流</u></p>	<p>○調べた国(1～2か国)を伝え合い、4か国+αの相違点を考える。</p> <p>・共通点も多い ・新しい発見があった</p> <p>・興味を持てた ・交流に参加したい</p> <p>○地域に住む外国の方のお話(ベトナム人)</p> <p>・どうして日本に? ・来てどう感じたか? 等</p>	<p>☆ゲストの方に交流にも参加していただき、交流を深める。</p> <p>□日本在住の方の話(ベトナムの方)</p>
7	<p><u>つながり</u></p> <p>・日本とベトナムが互いに支え合っていることを資料をもとに調べる。</p> <p><u>発展としてより深く1か国に注目</u></p>	<p>○つながりの深い国の一つ「ベトナム」について、「つながり」を詳しく調べる。</p> <p>・基本情報 ・観光 ・日本とのかかわり</p> <p>○調べたことをもとに、深く考え直す。</p> <p>「なぜ、つながりが深いのだろうか?」</p> <p>「日本のことをどう思っているのだろうか?」</p>	<p>□お好み焼き原材料の輸入割合</p> <p>□依存額が高い品目(衣類、えび、コーヒーなど)</p> <p>□服の裏側</p> <p>□住んでいた人の話(担任の経験、写真)</p>
8 本時	<p><u>つながり</u></p> <p>・国際協力にかかわる人の話や対話から、日本と外国とのかかわりの在り方やこれからを考える。</p> <p><u>学びを対話につなげ、考えを見直す</u></p>	<p>○日本や新宿で働く外国の方や貿易など日本は多くの国に依存していることを調べる。</p> <p>・外国の方とこれからもかかわる必要がある</p> <p>○ベトナムで国際協力に携わった人のお話から、現地の方の思いや日本人として大切にしたいことを考える。</p> <p>・外国とのかかわりやこれからを考えたい。</p>	<p>□日本、ベトナムの飲食店の広がり</p> <p>□JICA協力隊経験者の話</p> <p>□補助資料(写真、現地の方とのエピソード等)</p>

8. 本時の展開			
本時のねらい：国際協力にかかわる人の話や対話から、日本と外国とのかかわりの在り方やこれからを考える。			
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (5分)	1 前時までを振り返り、本時の課題を確かめる。 ・なぜベトナムとのつながりが深いのだろう？ ・日本のことをどのように思っているのか？ ⇒GTと挨拶をし、簡単な自己紹介をしてもらう。	☆日本とのかかわりだけでなく、日本が支えられていることに気付くことができるように促す。	<input type="checkbox"/> 前時までの資料 <input type="checkbox"/> お好み焼き原材料の輸入割合 <input type="checkbox"/> 依存額た高い品目 <input type="checkbox"/> 服の裏側
展開 (30分)	2 日本や新宿で働く外国の方は多く、日本はたくさんの方に依存していることを調べる。 ・外国の方とこれからもかかわる必要がある ・日本は、多くの国に支えられている。		<input type="checkbox"/> 日本に在住する外国の方 (グラフ) <input type="checkbox"/> 日本で働く外国の方 (種類や国の数など)
日本と外国とのかかわりの在り方やこれからを考えよう。			
	3 GT「ベトナムで国際協力に携わった人」のお話から、現地の人の思いや日本人として大切にしたいことを考える。 伝える内容 (案) <input type="checkbox"/> 現地の方とたくさん相談 <input type="checkbox"/> ちがいに驚いた <input type="checkbox"/> 日本のことを知りたいと言っていた など ・教えるだけでなく、一緒に考えることが大切 ・日本を良く思ってくれていて、うれしい ・外国の方と、どのようにかかわればいいのか？	☆一方的にお話を聞くのではなく、対話をしながら学ぶことをめざし、GTと相談し、簡易の台本や想定のやりとり作成し、児童の思考を深める。	<input type="checkbox"/> 話題で使う写真 <input type="checkbox"/> 現地でのエピソードがわかる写真や資料 <input type="checkbox"/> 具体物や動画 (GTと相談し、用意)
まとめ (10分)	4 質問や感想を伝え、ゲストから児童への質問やコメントをもらい、考えを深める ・GT⇒児童「外国の方とかわる時に気を付けていることは？」 ・児童⇒GT「自分も、外国の方と交流したいと思った」 ・GT⇒児童「未来を担うみなさんの考えが聞けてよかった」 5 本時や単元の学びをふりかえり、「外国とのかかわりはどう在るべきか」「これからどうすることが大切か」自分の考えを書き、伝え合う。 ・相手を理解して、相手の国の考えも尊重にしたい ・一方的でなく、一緒に考えたり行動したりする。 ・日本をもっと知り、日本のよさを生かせるようにしたい。	☆質問の偏りが無いように、また全体での対話となるよう、教師が助言する。 ☆難しいことだけでなく、率直な感想も大切に伝え合う様子を、ゲストティーチャーに価値付けのコメントをもらう。	<input type="checkbox"/> 担任の経験談 (写真) ※かかわりの経験 <input type="checkbox"/> GTのお話 (メッセージ)
9. 評価規準に基づく本時の評価 (評価方法)			
・国際協力にかかわる人の話や対話から、日本と外国とのかかわりの在り方やこれからのについて、「異文化を尊重し合う大切さ」や「前向きにかかわり合うことの良さ」に気付きながら考えている。 (ノート、発言、タブレット端末への記載)			

<p>10. 学習方法および外部との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施した GT JICA より紹介していただく「協力隊経験者」(日本人 GT) (ベトナムで村落開発や農業等) ※本時：オンライン出前授業を活用 (ベトナムソララ省リハビリテーション病院派遣中、現地より) 地域に在住する外国の方 (ベトナム人 GT) (日本語学校生徒や介護施設に勤務する方) 今後可能であれば、外務省のオンライン出前授業なども検討 (単元の内外に位置付ける) 3 学期以降 ・ゲストティーチャーなど人との出会いや人の姿を見せることを資料活用でも重視した。 ・より効果が高まるように、ICT ツールを活用し、ポートフォリオのように「学びの足あと」を残していく。 ・JICA やユニセフの資料を活用、また実物や写真資料を GT と相談し用意 ・対話を生むために少人数やタブレット端末の活用 (協働学習ツールや発表ツール)、思考ツールを必要に応じて選択する
<p>11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み</p> <p>学校内 ○実践を紹介する OJT や授業参観の推奨、2 クラスで実施し、実践のブラッシュアップ ○他学級、他学年への出前授業 (実施中)、また次年度に継続して実施する引継ぎ</p> <p>新宿区や東京都 ○所属する社会科研究部への資料提供・実践紹介</p>

【自己評価】

12. 苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・表面的に調べる、考えることしかできない児童も一部いた。目的意識や比較する視点が浸透していなかったと考えられる。 ・GT との授業では、聞くだけになる児童も一部いたが、事前学習の一層の充実や対話へのハードルを下げる手だてが必要だと考えられる。 ・授業の意図に合う GT を探すこと、打ち合わせや授業時間の確保が難しい。
13. 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本と比べる」というめあてを明確にしたり、意欲的に日本とのちがいや同じ点に気付き、もっと調べたいという思いをもって、学習を自ら進めたりできるように、導入段階から展開へのつながりを一層重視する。例えば、「言葉」や「食」など、子どもたちにとって身近な例や具体を示していく。 ・G T と対話的な授業を展開していくために、事前の学びを一層生かすために、ワークシートやタブレットに記録を残す、話に対してのメモを取るワークシートを工夫することで、自分の学びと比べたり、つなげたりしながら「聞く」ことができる。また、普段より、「質問力」を高めるために、児童同士の対話を各教科で重視する。 ・対話へのハードルを下げるために、事前にG T 講師との打ち合わせを密にし、「ねらい」を明確にした展開や取り上げる内容を「精選」していく必要がある。また、本時でも、途中までのG T のお話を整理し、気付きや驚き、感想をグループでの対話する活動は効果的であった。児童が自分の考えを話す場も保証することで、対話も重なっていくと考えられる。
14. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習の中に、必要性、必然性をもたせながらG T を登場させることができた。 ・教科の学習として、教科書・資料集に加え、図書資料やWEBサイトなどから視点を明確にしながらかつ、まとめることができた児童が多く、「日本と比べる」ことで、GT と出会う前の段階での「気付き」や「疑問」も多く生まれていた。 ・複数の出会いを設けることで、もっと知りたい！次はこんなことを聞きたい！と考えを深めようとする児童が増えた。本実践では、日本にいる外国の方、外国で働き日

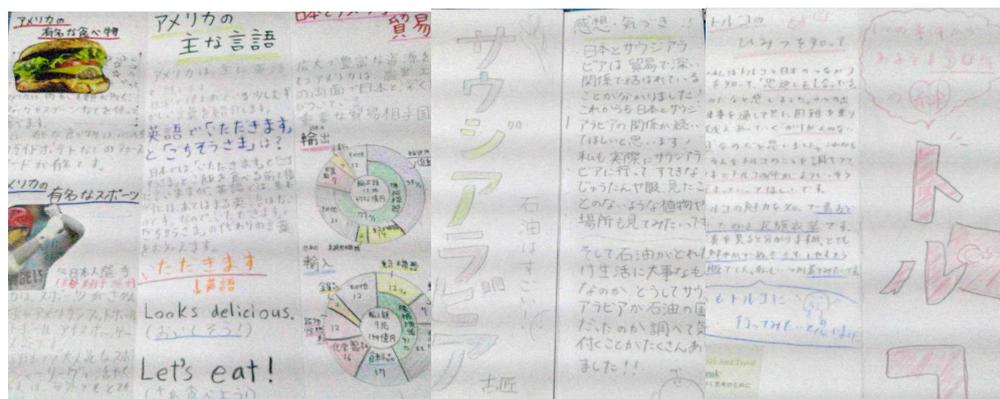
本に戻ってきた日本の方、現地で働く日本の方など多様なGTとかかわる中で、自然な対話へとつながった。

- ・GTの役割を明確に位置付けながら、事前の打ち合わせを進め、授業では意図した反応はもちろん、それ以上の児童の考えの変化が見られた。GTと方と「教材」となる資料や具体的設定や時間に応じて精選したことはもちろん、とらえさせたい、気付いてほしい「思いや願い」などのメッセージを明確にしたことが、効果的であった。
- ・授業展開として、対話の時間を十分確保すること、児童自らが考える時間も確保することが効果的であった。また、本物に触れる「GTご本人の魅力」やオンラインの「現地からの生中継」は児童に大変響いた。

15. 学びの軌跡
(児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)

【本時の前までの調べる段階の児童のまとめ例】

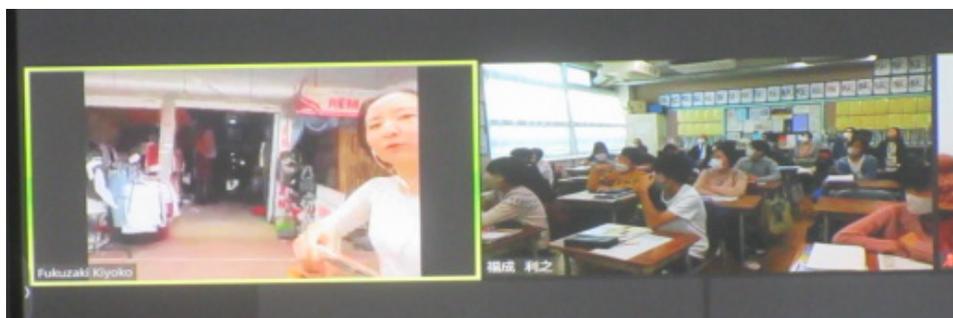
- ・日本とトルコは、お互いに助け合っていてすごくいい関係だと思った。これからも維持していったらいいなと思った。
- ・アメリカは、日本の最大の貿易相手国の一つで、農業、工業の面でも深く結びついていると知り、スポーツや文化、ほかのイベントも日本に伝わっていることも、たくさん調べてみてわかった。
- ・日本とサウジアラビアは深い関係で結ばれていることがわかった。これからも関係が続いてほしい。実際にいつかサウジアラビアに行って、じゅうたんや服、見たことのない植物などを見てみたい。また、石油が生活に大事なもので、サウジアラビアが石油の国であることも、調べて気付くことがたくさんあった。
- ・中国と日本は戦争があったりしたけど、平和友好条約などの結びつきがあった。2000年以上のつながりから、食生活や漢字など日本人が日常生活でよく使われている文化は時を経て日本人に浸透してきたと思った。



【まとめる】

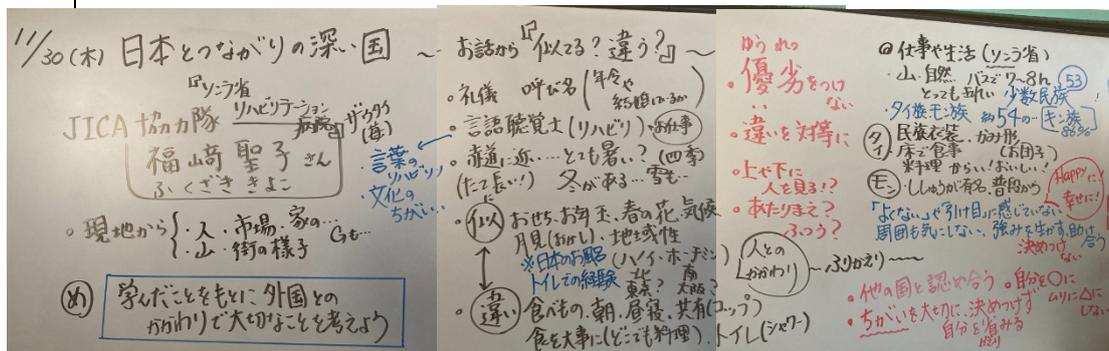
⇒調べたことを互いに交流し、二国間だけでなく、共通性や相違性に気付いた。

一部の児童は、もっと調べたい意欲や学びをつなげたり、総合したりして考えることができた。一方で、まだ表面的であったり、関連付けたりすることが難しい様子も見られた。考えもやや抽象的であり、深まりのない児童もいた。

【つなぐ】新しい事例を調べる、GT との対話【本時を含む】**【本時を経て改めて考えた日本のこと、外国とのかかわりや自分の考え】**

- ・ベトナムの方や働いている人の説明を聞いて、日本と違って民族に分かれていることや服、言葉もちがう、何より日本とちがっておもしろかった。文化が違って文化を受け入れることが大切なのがあった。
- ・これから外国の人とかかわるときは、日本とのつながりを考えて接してみたい。
- ・ベトナムの学校、生活のこと、いろいろと知ることができた。カエルやハチの子、わたしが食べたことがないものが多くて、びっくりした。「おしりあいトイレ」の話から、相手を下に見てしまったというお話を聞いて私も反省しないといけないと思った。ベトナムの人と働く日本人はみんな明るくていいと思った。
- ・日本とちがうところや同じところもあって、上や下に見ることはよくないと思った。ちがいや文化を認める大切さを改めて学んだ。ベトナムの中にも、タイ族、モン族、キン族などがあり、民族によって服装や文化がちがうことも分かった。そして民族同士も交流し合っていることも分かったので、交流することの大切さにも気付いた。
- ・「相手を否定しない」ことも大切だが、自分のことを「よくない」や「引け目を感じない」こと、強みを生かしていくことが大切になっていることがすばらしいと思った。
- ・ベトナムと日本は全然ちがうと思った。ベトナム以外の国の日本とのちがいをもっと知りたいと思った。これからほかの国に行ったときにはその国の文化を認めていくことが大事だと分かった。
- ・国の文化などでちがいはあるけど、それを否定して下に見ることはせず、よいところとかかわったり、下に見ずそれも文化だと受け入れ仲良したりすることが大切。またこの国はこうだからなどと決めつけたりせず、これからもかかわっていければいい。また、このようなことは友達とのかかわりなどでも意識すれば自分たちも成長できると思った。
- ・文化や生活のちがいに上下をつかないことが大切だとわかった。これから、もし海外旅行や日本での生活

	<p>に役立てたい。それぞれのよいところをちがいも含めて尊重していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部が全部日本と一緒にではないから、ほかの国の文化やちがいを受け止めることが大切。相手を考え、思いやる心が大切。ニュースで〇〇国だから、よくないイメージがついてしまうが、学習の中で予想外にいい雰囲気だったりよさがあったりすることに気付いた。 ・もっと外国とのかかわりを深めるために調べたい。今回みたいに現地の人にインタビューをして様子や文化を学ぶことで、外国とのかかわりを深めたいと思った。 ・ベトナムや日本などのほかの文化などに触れ合うときに、相手を否定せずに分かり合う、認め合うことが大切だと分かった。日本と違うところもその国の個性だと思って接していきたい。福崎さんのお話を聞いて、自分がされていやだと思うことは人にはやってはいけないことで、これは国同士のかかわりとしても同じことが言えると分かった。中学校に入っても異文化と触れ合うときは、相手のことを考えてどんなことも互いに認め合いながら、交流を深めていきたいと考えた。
16. 授業者による自由記述	<p>国際理解や出前授業は、特別なものである、たまにしかできない、いつもできるわけではないと、一般的には捉えられている。一方で、その目的や共生、多文化理解などを児童に考えさせることは難しく、一朝一夕にはいかない。「人」を重視すること、授業の中に位置付けることの難しさや意義を改めて考えることができた。日々の授業、積み重ねを大切に、これからも実践を重ねていきたい。</p>



参考資料：

- ・円グラフ「日本人が多く住む外国の国、日本に住む外国人」外務省、法務省より（教科書資料）
- ・棒グラフ「年別日本を訪れる外国人の推移」日本政府観光局
- ・折れ線グラフ「日本で働く外国人労働者数の推移」、円グラフ「国籍別の割合」厚生労働省より
- ・JICA 資料「国際理解教育実践資料集」より円グラフ「お好み焼きの材料」、地図資料「見てみよう、服の裏側」
https://www.jica.go.jp/cooperation/learn/material/educational_practice.html
- ・JICA オンライン出前授業 <https://www.jica.go.jp/cooperation/see/delivery/index.html>
- ・円グラフ「コーヒー豆輸入の内訳」貿易統計より
- ・各種グラフ「ベトナムにおける日本食レストラン数、都市別内訳、日本料理認知度」ベトナム統計局、JETRO より
- ・WEB サイト アセアンペディア <https://aseanpedia.asean.or.jp/download/>
- ・WEB サイト アセアンペディア ベトナム版動画資料 https://aseanpedia.asean.or.jp/country_profile/vietnam/

Web でベトナムについて
もっと知ろう！



ASEANPEDIA Web版
ベトナム



動画で学ぶASEAN諸国
ベトナム編

- ・WEB サイト「世界の食と文化」株式会社 明治 <https://www.meiji.co.jp/meiji-shokuiku/worldculture/vietnam/>
- ・WEB サイト ベトナム ハノイ日本人学校 <https://ish.edu.vn/>
- ・写真資料（担任所有、各種ガイドブック、写真集『バイクス・オブ・バードン／Bikes of Burden』の日本語版等）

JICA地球ひろば 「国際理解指導者研修」 資料 (R5) 単元・本時

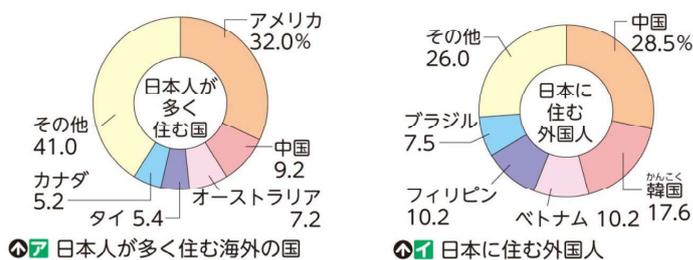
6年社会「日本とつながりの深い国々」
新宿区立落合第二小学校
福成 利之

日本とつながりの深い国 (調べる) 国名 () 名前

視点	調べたこと・分かったこと	気付き・日本と比べる
基本情報 (国土や産業)		
衣食住 (くらし)		
文化や歴史		
貿易		
スポーツ		
人物や都市のつながり		

日本とつながりの深い国 (つなぐ) 国名 (ベトナム) 名前

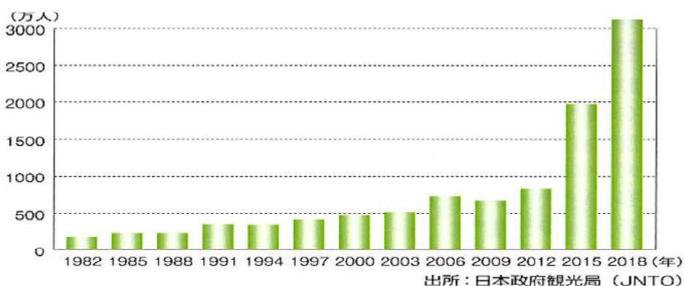
①質問や疑問 ・前の時間まで ・今日の資料 ※ムーブノート	
②お話からメモ ・驚き ・気付き ・大切 ・これから	
③ふりかえり ・日本のこと ・外国との かかわり ・大切なこと ・自分の変化	



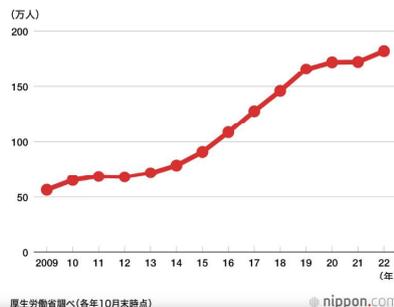
(2017年 外務省・法務省)

資料2 日本を訪れる外国人

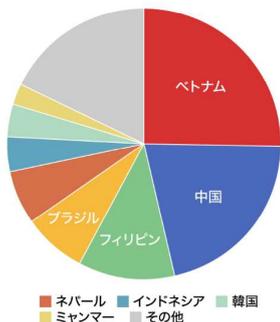
■ 年別訪日外国人数の推移



日本で働く外国人労働者数の推移



国籍別の割合 (2022年10月末現在)



PICK UP!

ASEAN 諸国から日本への留学生 **38,592** 人

在日の ASEAN 諸国からの留学生の中では、ベトナム人留学生の数が最多！ ASEAN 諸国からの留学生全体の約 7 割 (2021 年)

ベトナムの国旗



赤は革命で流された血を、黄色い星の 5 つの頂点は、労働者、農民、知識人、青年、兵士の団結を表しています。

Aere!



CHECK IT!

ベトナム基礎データ

面積	331,310 km ²
人口	約 9849 万人 (2021 年推定値)
首都	ハノイ
政治体制	社会主義共和制
主な言語	ベトナム語
主な宗教	仏教、カトリック
通貨	ドン

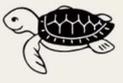
SOCIALIST REPUBLIC OF VIET NAM

ベトナム社会主義共和国

ドイモイという名の開放政策で飛躍観光地として大人気

民族衣装アオガイ

世界遺産フエ(ホイ・ドン帝廟)



ベトナム交流マナー

フランス植民地時代の背景もあり、欧米流のレディースファーストのマナーがあります。エレベーターなどでは女性に先をゆずりましょう。

相手の文化や生活習慣を尊重し、失礼のないように心がけましょう。

Webでベトナムについてもっと知ろう!

ASEANPEDIA Web版 ベトナム

動画で学ぶASEAN諸国 ベトナム編

見てみよう 服の`裏側、

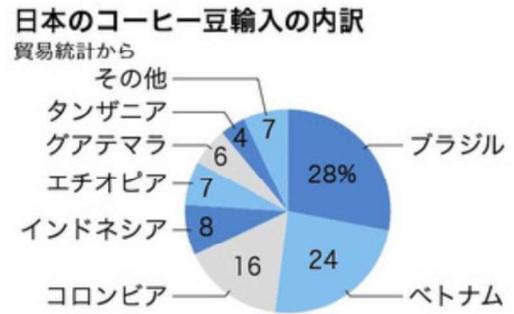
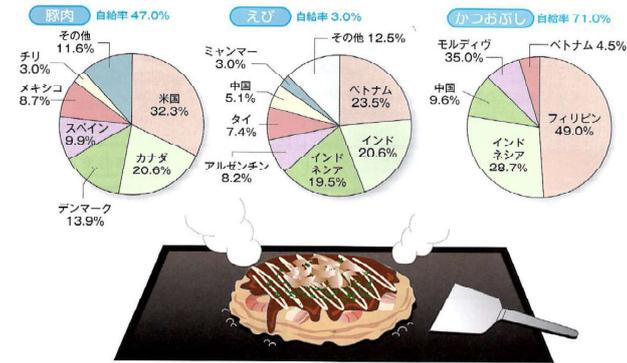


中国
タイ
ベトナム
カンボジア
インドネシア
ミャンマー
バングラデシュ
イタリア

日本国内で作られている服は、はわずか3%

世界の国々からたくさんの服を輸入している

出典:日本繊維輸入組合「2017年1-12月衣類輸入状況」をもとに作成
出典:日本化学繊維協会「繊維ハンドブック2017」



GTのお話(想定Q&A、お話いただくこと)

ベトナムから日本へ イエンさん

- ①日本にどうして来ようと思ったか?きっかけは?
- ②ベトナムにいた頃の日本はどんなイメージ、印象か?
- ③日本に来て苦労したことや大変なこと、驚きはあったか?
- ④日本の人とかわかるときに、どんなことに気を付けたか?
- ⑤日本のことをどう思うか、日本のよさはどんなことか?
- ⑥児童へのメッセージ
(大切なこと、外国ですぐすために必要なことなど)

GTのお話(想定Q&A、お話いただくこと)

ハノイ日本人学校 事務局長 多田さん

- ①ベトナムになぜ行っていたか?どのような仕事か?
- ②仕事のやりがいやおもしろさはどんなところか?
- ③苦労したことや大変なこと、驚きはあったか?
- ④どんなことに気を付けて、現地の方と交流したか?
- ⑤日本のことをどう思っていると感じたか?
- ⑥児童へのメッセージ (大切な考え方や必要な力など)

GTのお話(想定Q&A、お話いただくこと)

JICA協力隊 福崎聖子さん

- ①ベトナムになぜ行っていたか?どのような仕事か?
- ②日本とどんなにかわりやつながりがあったか?
- ③苦労したことや大変なこと、驚きはあったか?
- ④どんなことに気を付けて、現地の方と交流したか?
- ⑤日本のことをどう思っていると感じたか?
- ⑥児童へのメッセージ (大切な考え方や必要な力など)



ソララの風景。山々に囲まれ自然が豊かです。



職場の様子。設備は思ったより整っています。

・JICA青年海外協力隊 ベトナム ソンラ省
リハビリテーション病院派遣 福崎 聖子(ふくざき きよこ)さん

担任のお話 (ベトナムハノイ日本人学校)

※写真+コメント(資料にする)

<前時まで>

- ① 日本とのかかわり (観光) ホイアンの日本橋、JICA支援
- ② // (建物、インフラ) 空港や橋 (名称)
- ③ // (日本食や人気のあるもの) お店や漫画

<本時>

- ④ タクシーやレストラン、公園での現地の方とのかかわり
- ⑤ 日本人学校のスタッフとのかかわり (スポーツや言葉、食事)



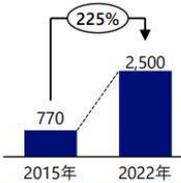
ニヤタン橋 (日越友好橋)



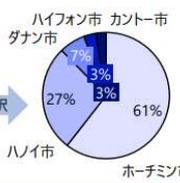
ノイバイ空港国際線新ターミナル



ベトナムにおける
日本食レストラン数
(2022年、単位：軒)



内訳) 都市別
日本食レストラン数
(2022年、単位：軒)

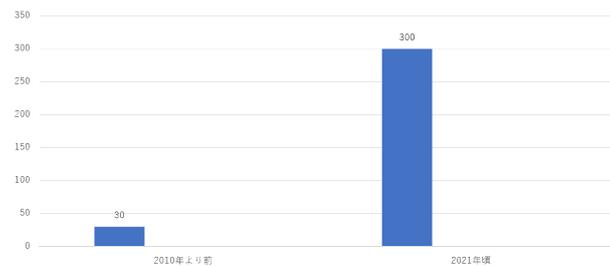


ベトナムの
日本料理への認知度
(2022年、単位：%)



出所：ベトナム統計局、VNBusiness、JETRO (国別マーケティング基礎情報2022年6月)、各種

都内のベトナム料理店 (数) の変化



マンガは25,000ドン(115円ほど)
ほかにも、人気があるのは?





クイズ資料：日本語と近いベトナム語